

名神名阪連絡道路有識者委員会（第3回）議事概要

1. 日 時

令和7年6月6日（金） 15:00～17:00

2. 場 所

滋賀県危機管理センター 災害対策室3・4

3. 出席者（五十音順、敬称略）

〔委員長〕立命館大学教授 小川 圭一

〔委員〕三重大学教授 朝日 幸代

一般社団法人滋賀県トラック協会 滋賀県トラック女子部会長 平川 千波

立命館大学教授 深川 良一

名城大学教授 松本 幸正



4. 目 的

本委員会は、「優先区間」の設定に向けて、地域特性・道路交通状況や課題を共有したうえで、住民等意見聴取（PI）方法および今後の進め方等について議論を行うもの

5. 議 事

- （1）優先区間の絞込み方針の提示、（2）地域特性・道路交通状況と課題の共有、
- （3）第2回意見聴取（PI）方法（案）の提案、（4）今後の進め方について

6. 委員からの主な意見

（1）優先区間の絞込み方針の提示、（2）地域特性・道路交通状況と課題の共有

- ・「雨量による規制と事故による規制は性質が異なるため、それぞれの要因をより詳細に整理できるとよい」
- ・「本道路の必要性を明確にしていくうえで、整備効果の評価をより定量的に検討していくことが望ましい」
- ・「ドライバーの視点では、新名神高速道路は、非常に快適で運転しやすい道路である一方、名阪国道は、心理的・肉体的負担が大きい道路である」
- ・「本道路の整備後に、交通容量を超えるような開発が進まないよう、自治体と調整することが重要」
- ・「能登半島地震等の被害事例を踏まえ、盛土部や液状化リスクの高い箇所への対策に留意すべき」

（3）第2回意見聴取（PI）方法（案）の提案

- ・「広域的な課題把握や優先区間の設定に向けて、アンケート結果をどのように分析し、その結果をどうまとめるか、整理すること」
- ・「初めてアンケートを見た方でも理解し、答えやすいように工夫すること」

（4）今後の進め方について

- ・今後の進め方について、同意いただいた
- ・事務局より「優先区間」の呼称を「先行区間」などに変更することを提案し、同意いただいた
⇒今後、「優先区間」という名称は、見直していく方向で議論を進める